

目 次

．総括研究報告

神経免疫疾患のエビデンスによる診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者 QOL
の検証に関する研究 …………… 3

金沢医科大学・神経内科

松井 真

．分担研究報告

神経免疫疾患担当グループ別研究

1. 第 5 回多発性硬化症・視神経脊髄炎全国臨床疫学調査の実施計画と実施状況 …… 19

九州大学・神経内科

吉良 潤一、他

2. 神経免疫疾患のエビデンスによる診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者
QOL の検証研究班：クロウ・深瀬症候群の診断基準策定と治療ガイドライン …… 23

千葉大学・脳神経内科

桑原 聡、他

3. 重症筋無力症ならびにランバート・イートン筋無力症候群の全国疫学調査 一次調査によ
る患者数推計 …………… 28

金沢大学・保健管理センター

吉川 弘明、他

4. 自己免疫性脳炎の全国調査(2 次調査結果) …………… 34

山口大学・神経内科

神田 隆、他

中枢神経系脱髄疾患

5. Neurofascin155 抗体陽性 CIDP 例における IgG subclass・脳脊髄液中抗体と臨床症状と
の関連に関する検討 …………… 36

防衛医科大学校・神経・抗加齢血管内科

海田 賢一、他

6. 中枢神経炎症性脱髄性疾患における MCAM 発現 T 細胞に関する研究 38
東京女子医科大学・脳神経内科
清水 優子、他

MS / NMO 基礎

7. 日本人多発性硬化症の環境リスク因子調査成績 40
九州大学・神経内科
吉良 潤一、他
8. 日本人多発性硬化症患者における JCV 感染の免疫遺伝学的背景因子調査成績 42
九州大学・神経内科
吉良 潤一、他
9. 多発性硬化症と視神経脊髄炎における髄液、血清における抗酸菌の影響に関する研究 44
順天堂大学・神経学
横山 和正、他
10. 視神経脊髄炎の再発に対するリツキシマブの有用性を検証する 第 2 / 3 相多施設共同ブラセボ対照無作為化試験 (RIN-1 試験) とオープン継続試験 (RIN-2 試験) の進捗報告 (平成 30 年度) 47
宇多野病院・臨床研究部
田原 将行、他

免疫介在性疾患群

11. 抗 MOG 抗体陽性例における病理学的検討 49
福島県立医科大学・多発性硬化症治療学
藤原 一男、他
12. 自己免疫性 GFAP アストロサイトパチーの臨床像の検討 51
岐阜大学・神経内科老年学
木村 暁夫、他
13. 自己免疫性小脳失調症に関連する自己抗体としてのカルシウムチャンネル抗体 53
長崎総合科学大学・医療工学コース
本村 政勝、他

14. 神経免疫治療の高額薬剤の動向と費用対効果 56
国際医療福祉大学・医学教育統括センター
荻野 美恵子、他

M G

15. 重症筋無力症合併筋炎の臨床病理学的検討 59
東京大学・神経内科
清水 潤、他

16. 抗 AChR 抗体陽性重症筋無力症におけるタクロリムス減量による再発危険因子の検討・61
東京医科歯科大学・脳神経病態学
横田 隆徳、他

17. 小児期発症 MG の神経内科 transition 後の経過 63
帝京大学・神経内科
園生 雅弘、他

18. 重症筋無力症患者における月経周期と症状増悪の関連性 65
埼玉医科大学総合医療センター・神経内科
野村 恭一、他

神経筋接合部疾患・筋炎

19. 慢性移植片対宿主病筋炎の臨床病理像の検討 67
東京大学・神経内科
清水 潤、他

20. 本邦の LEMS を合併する傍腫瘍性小脳変性症の臨床的特徴 69
長崎総合科学大学・医療工学コース
本村 政勝、他

21. 診療データベースからみた難治性重症筋無力症の疾病負荷 72
国際医療福祉大学・神経内科
村井 弘之、他

免疫介在性ニューロパチー他

22. フィッシャー症候群の重症度予測マーカーとしての先行感染 74
山口大学・神経内科
神田 隆、他
23. エビデンスに基づいた神経免疫疾患の早期診断・重症度分類・治療アルゴリズムの確立に
向けて:慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー 76
名古屋大学・医学系研究科
祖父江 元、他
24. 抗 GM1 抗体が及ぼす神経系培養細胞の細胞膜への影響の解明 79
藤田医科大学・脳神経内科
武藤 多津郎、他

G B S

25. ギラン・バレー症候群における神経超音波検査の経時的変化 81
脳神経センター大田記念病院・脳神経内科
郡山 達男、他
26. 抗 GQ1b 関連抗体陽性 Bickerstaff 脳幹脳炎の臨床的特徴 83
近畿大学・神経内科
楠 進、他
27. 本邦のギラン・バレー症候群の臨床的特徴と予後予測因子の検討 85
近畿大学・神経内科
楠 進、他
28. ギラン・バレー症候群に対する免疫グロブリン静注療法とアフェレシス療法の併用による
臨床的有効性と血清 IgG 値 87
埼玉医科大学総合医療センター・神経内科
野村 恭一、他
29. 血液神経関門に注目したギラン・バレー症候群患者の新規バイオマーカーの探索 89
山口大学・神経内科
神田 隆、他

全国調査とレジストリー

30. スティッフパーソン症候群の全国調査 91
徳島大学・脳神経内科
和泉 唯信、他
31. アイザックス症候群の臨床像と自己抗体に関する検討
～国際共同研究結果を踏まえて～ 94
鹿児島市立病院・神経内科
渡邊 修、他

MS / NMO臨床

32. 日本人多発性硬化症コホートにおける認知機能障害とその病態解析 96
新潟大学脳研究所・神経内科
河内 泉、他
33. 視神経脊髄炎病巣における炎症極性の解析 98
新潟大学脳研究所・神経内科
河内 泉、他
34. 多発性硬化症患者に対する fingolimod による末梢血 T・B リンパ球サブセットの変動
(第2報) 100
埼玉医科大学総合医療センター・神経内科
野村 恭一、他
35. MS・NMOSD 患者の活動性指標としての髄液リンパ球亜分画 102
金沢医科大学・神経内科
松井 真、他

MS / NMO治療

36. 多発性硬化症疾患修飾薬への反応性と血清 Sema4A についての検討 104
富山大学・脳神経内科
中辻 裕司、他
37. フィンゴリモド中止後の再発に関するケモカインの解析 106
北海道医療センター・臨床研究部
新野 正明、他

38. Natalizumab 6 週毎投与(6WD)の効果と安全性:	
日本人多発性硬化症 104 人での評価	108
関西多発性硬化症センター	
齋田 孝彦、他	
.研究成果の刊行に関する一覧表	115